

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	技術者倫理
科目基礎情報					
科目番号	4S1840		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	電子制御工学科		対象学年	4	
開設期	前期		週時間数	前期:2	
教科書/教材	藤本温編著『技術者倫理の世界』 第3版 森北出版				
担当教員	本 慎一郎,堀江 潔				
到達目標					
1. 社会が求める技術者の倫理を説明できる。(B2) 2. 社会に対する技術者の義務を説明できる。(A3) 3. 技術者と社会と組織の関係性を説明できる。(B2) 4. ある事例について様々な視点で捉え、複数の解決策を模索し、グループワークやディスカッションを行うことができる。(B2)					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	社会が求める技術者の倫理を説明できる。		社会が求める技術者の倫理をほとんど説明できる。		社会が求める技術者の倫理を説明できない。
評価項目2	社会が求める技術者の義務を説明できる。		社会が求める技術者の義務をほとんど説明できる。		社会が求める技術者の義務を説明できない。
評価項目3	技術者と社会と組織の相互関係を説明できる。 ある事例について様々な視点で捉え、複数の解決策を模索し、グループワークやディスカッションを行うことができる。		技術者と社会と組織の相互関係をほとんど説明できる。 ある事例について様々な視点で捉え、複数の解決策を模索し、グループワークやディスカッションを行うことができる。		技術者と社会と組織の相互関係を説明できない。ある事例について様々な視点で捉え、複数の解決策を模索し、グループワークやディスカッションを行うことができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	技術が発展していく中で、技術者に対して要求される倫理を学び、モノを作り出す上で必要な倫理的知識を修得する。また、技術者がモラルに反しない行動をするために社会との関係性を考察する。グループワークやディスカッション等を通じて、社会に出た後に実践・応用できる倫理観を養う。 この科目は学修単位科目のため、事例研究としてのレポートの提出、授業後の質問課題の提出を実施する。 この科目は地方銀行で国際業務、総合企画・営業本部業務、支店統括運営業務等を経験し、対金融機関取引、対顧客取引を担当していた教員が、その経験を活かし、実社会での倫理、コンプライアンス、モラルについて、講義とディスカッション形式で授業を行うものである。				
授業の進め方・方法	予備知識：技術が発展していくにつれて、技術者に対する社会的要求が高度になってきていることを自覚し、講義へ望むことが期待される。 講義室：四年各教室または情報セキュリティ演習室 授業形式：講義、事例紹介、グループ討議、発表 学生が用意するもの：教科書、ノート、ファイル(配布資料用)				
注意点	評価方法：試験 (A3,B2) 60%、発表等 (A3) 20%、提出物・相互評価・態度等 (B2) 20%とし、各項目で60点以上かつ総合成績60点以上を単位取得とする。 なお、発表については、全3回のグループワークうち2回以上参加しなければ、単位認定とはならないので留意すること。 自己学習の指針：各自、教科書の関係箇所や配布資料を熟読し、試験やグループディスカッションに備えること。 オフィスアワー：月曜日16:10~17:00				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 技術者の視点	学習目標や方法・評価などや技術者倫理とは何かを理解できる。	
		2週	倫理と法	倫理と法の間接関係を理解できる。	
		3週	公衆の安全、健康、福利	倫理規程について理解できる。	
		4週	事例①	様々な事例の概略を理解できる。	
		5週	グループワーク①	グループディスカッションを通して様々な観点から考え、グループワークができる。	
		6週	知的財産権	知的財産権について理解できる。 (K-SEC分野別教材)	
		7週	安全性とリスク 事例②	様々な事例の概略を理解できる。	
		8週	グループワーク②	グループディスカッションを通して様々な観点から考え、グループワークができる。	
	2ndQ	9週	費用便益分析と製造物責任法	費用便益分析と製造物責任法について理解できる。	
		10週	倫理問題の特徴	倫理問題の特徴を理解できる。	
		11週	組織の問題 事例③	様々な事例の概略を理解できる。	
		12週	グループワーク③	グループディスカッションを通して様々な観点から考え、グループワークができる。	
		13週	公益通報一内部告発一	公益通報を説明できる。	
		14週	優れた技術者をめざして	持続可能な社会について学び、環境問題を説明できる。 優れた事例を学び、技術者の視点、公衆の視点を理解する。	

		15週	全体のまとめ	技術者倫理を習得することについて理解し、技術者への準備と説明ができる。			
		16週	前期定期試験				
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	10	10	0	0	100
基礎的能力	60	20	10	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0